

A light blue map of the Shikoku region in Japan is centered in the background. The map shows the four main islands of Shikoku: Ehime, Kochi, Fukuoka, and Tokushima. The text is overlaid on this map.

四国圏広域地方計画

～ 癒やしと輝く産業・ひとを育てる四国の創造 ～

計画の概要

平成21年8月

四国圏の特徴

社会の潮流

人口減少・高齢化の急速な進行
産業技術の高度化・情報化の進展
広域交流の拡大・グローバル化の進展
「新たな公」の役割の重視

災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大
産業・雇用構造の変化と地域間競争の激化
価値観・ライフスタイルの多様化と心の豊かさの重視

四国圏の特徴

◆強み

美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在

■美しい自然景観



だるま夕日
(高知県宿毛市)

■四国伝統の遍路文化



美しい風景や訪れる人々を暖かくもてなすお接待の心

確かな力ある産業の存在

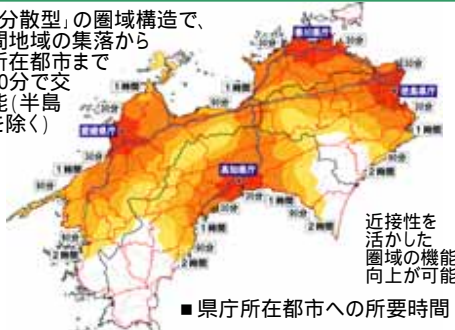
主に瀬戸内海側に産業が集積し、世界一・日本一のシェアを誇る企業も多数立地



人材育成活動の活発化

多様な地域が存在と相互の地理的 近接性を活かした交流の可能性

「多極分散型」の圏域構造で、中山間地域の集落から県庁所在都市まで概ね90分で交流可能(半島部等を除く)



個性のある一次産業、 食等の存在

各県を代表し、全国的にも知られた食品・食材が存在

■代表的な食品・食材



◆弱み

厳しい地勢・自然条件

産業集積・企業集積の不十分さ

経済社会面・生活利便性面の 格差とインフラ整備の遅れ

四国圏内外との連携・交流の弱さ

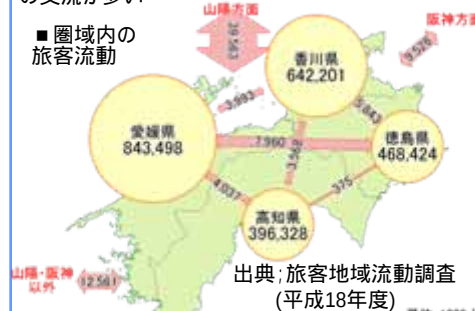
高速道路網の整備の遅れにより、他圏域との格差が発生

■高速道路網等の整備状況



圏域の旅客流動は、圏域内の交流よりも圏域外との交流が多い

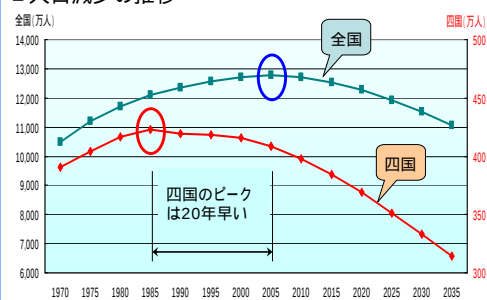
■圏域内の旅客流動



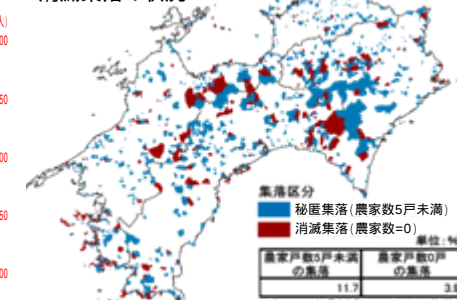
人口減少による国土の荒廃・喪失

人口減少の急速な進行(全国より20年早い)、消滅のおそれがある集落が多数存在

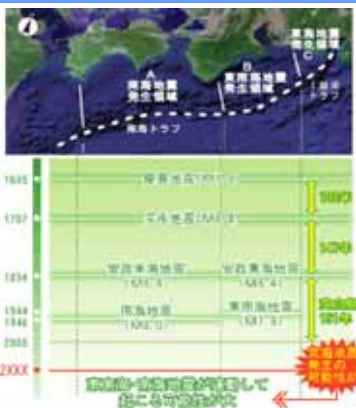
■人口減少の推移



■消滅集落の状況



四国圏の特徴を踏まえた今後の課題



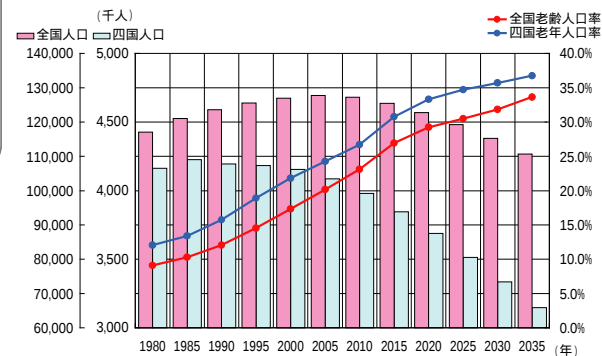
東南海・南海地震の発生のおそれ

- 東南海・南海地震の発生のおそれ
(今後30年間の発生確率：東南海地震：60～70%、南海地震：50%)
- 急峻な地形・地質条件、厳しい気象条件
- 人口減少が全国より約20年、高齢化が約10年早く進行
- 首都圏等への人口の流出

■ 戦略的取組を通じて、人が定住し交流人口の多い圏域にすることが必要

そのためには、

- 人々の多様なライフスタイルに応じた生活や活動の場となる環境の整備
 - 地域の魅力を活かし、新たな魅力を生み出す地域づくり
- が不可欠



人口減少 + 高齢化の急速な進行

災害や環境に対する安全・安心の確保

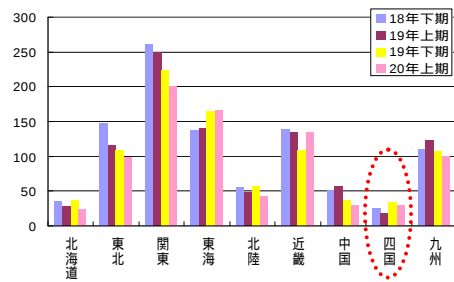
- 東南海・南海地震や台風、頻発する渇水に対応しないと、人が定住する圏域にはならない



〔早明浦ダム〕渇水による被害
(生産・生活活動にも影響)

外部環境変化に対応した産業活性化の展開

- 産業が活性化しないと人の集まる圏域とならない

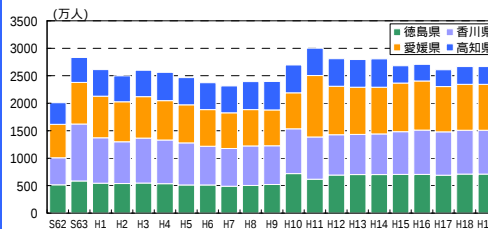


全国でもっとも低調な工場立地件数

豊富な地域資源の活用と魅力の創出

- 地域にある独自の資源を最大限に活用しないと、圏域の自立的発展は望めない

4県における県外観光客数(万人)

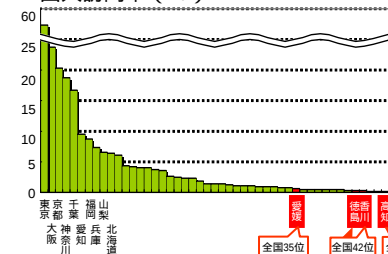


観光資源入り込み客の停滞

圏域内外における結びつきの強化

- 四国が一体となって圏域内の結びつきを強化し、他圏域や国外とも交流を促進しないと活力向上は望めない

外国人訪問率(%)

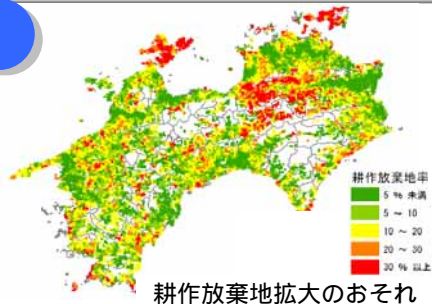


中山間地域、半島及び島しょ部等の活性化と都市における活力の向上

- 耕作放棄地や管理されない森林が増加すると国土の荒廃を防げない



荒廃した山林



耕作放棄地拡大のおそれ



シャッター通り(中心市街地の衰退)



医療等基礎的サービス享受が困難

1週間に2、3回、高松に出かけます。市内の病院にも時々通っています。以前は、週に4回お医者さんが島に来てくれましたが、今は週に1回だけなんです。(女木島在住)

四国圏の発展の姿

四国圏がもつ「癒やし」の魅力を活用する

心の豊かさを求める時代の要請に応え、四国圏独自の「癒やし」の魅力を伸張させ、四国の住みやすさを高めつつ、訪れる人を増やし、地域力を向上させる。

独自の資源に裏打ちされた経済活力を活かす

特色ある企業や産業集積、全国的に認知度の高い食品・食材など地域資源を活かしつつ、絶え間ざるイノベーションにより経済活力を高める。

国内外との交流・連携

相乗効果の発揮

国内外との交流・連携

成長力をより強め、多様な人材をひきつける圏域に

今後10年間の圏域づくりに向けて

- 安全・安心と経済活力を支える環境づくり
- 地域のことは主体的に自分たちで取り組むという考えに基づく、独自性、個性を活かした地域づくりと地域づくりを進めるための「担い手となる人材の育成」「地域資源の活用」「『新たな公』の構築」
- 圏域内の多様な地域が適切な役割分担を図り「四国はひとつ」の視点から戦略的に連携することにより新しい四国の価値を創出
- 全国のモデルとなることを目指した地域づくり
- 全国、世界との交流・連携を深めることにより、さらなる活力を創出

これらの考え方を重視した取り組みが必要。

基本方針

地域の強みを活かし、圏域全体の連携によって自立的に発展する
『癒やしと輝きのくに』 四国の創造

四国圏の発展に向けた目標

安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国

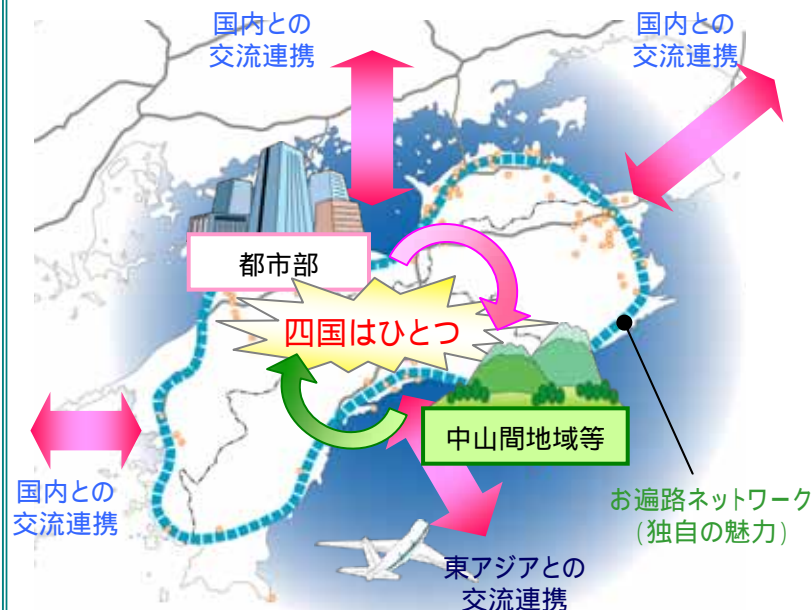
地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国

地域の視点

中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国



発展に向けた目標

<安全・安心>

- 災害に強い地域をつくる

<自然保全・環境>

- 自然・地球環境との調和を高める

<暮らし>

- 地域の暮らしの快適性を高める

戦略的取組

災害に強い地域

■ 東南海・南海地震等大規模災害発生時における被害の抑制と迅速な復旧

- ・水害や土砂災害等の頻発箇所における対策の推進
- ・建築物や構造物の耐震性強化、密集市街地の改善
- ・大規模災害発生時における迅速な復旧と事業継続



斜面崩壊

■ 災害時の交通・情報通信ネットワーク強化

- ・災害に備えたネットワークの強化
- ・災害情報の収集・共有体制の構築



津波防波堤

■ 減災に向けた地域との相互連携と住民一人一人の防災に対する意識の向上

- ・安否確認や助け合い等自主防災活動の促進
- ・避難路や避難場所の確保と防災意識の向上
- ・自治体や地域住民との防災情報の共有化

■ 広域的な応援体制の構築

- ・広域的な応援体制の強化

- 災害発生に備えた広域連携

- 自然豊かで美しい四国



自然・地球環境との調和

■ 失われつつある自然との共生

- ・自然の保全と再生
- ・豊かで美しい瀬戸内海等の環境保全・再生
- ・交流活動や地域緑化運動の拠点づくり



間伐活動

■ 森林、農地、河川流域の適切な整備・保全と水資源の確保

- ・森林や農地の適切な整備と保全
- ・渇水に強い地域づくり
- ・流域圏での環境や資源の保全・再生の推進



早明浦ダム渇水状況

■ 人間活動と自然のプロセスが調和した物質循環の構築

- ・循環型社会の形成
- ・地球温暖化防止の推進
- ・大気・土壌対策等の推進

■ 自然と地球にやさしい環境保全活動・環境教育の推進

■ 安全・安心で快適な生活環境づくり

- ・高齢者等に配慮した快適な住環境整備
- ・社会基盤の効率的・効果的な整備
- ・安全・安心な交通環境の形成
- ・犯罪のない地域づくりの推進



【オリブマーク】
香川県下で、ドライバーに
右左折時の方向指示器の
早期点灯を促すために道路
に表示されたマーク
(写真：高松市天神前)



オリブマーク



【おいしい風土
こうちサポーター】
それぞれの立場で地産地消
の活動を実践し、活発な情報
交換や交流をつうじて活動をさ
らに深めてもらうため、PRや交
流の場が設けられている。

- ・保健・医療・福祉サービス体制の整備と子育て等の支援の充実
- ・食の安全と消費者の信頼の確保に関する対策の推進

■ 地域づくりの担い手の育成と多様な主体が参加できる仕組みづくり

- ・地域に根ざした人材育成及び確保
- ・行政と民間主体の連携・協働等

平成18年度 1人1日あたりのごみ排出量
全国平均：1116g/人日



注)人口50万人以上の都市



道路清掃
ボランティア
(徳島県徳島市)

発展に向けた目標

< 産業の活性化 >

- 絶え間ないイノベーションにより **世界に通用する産業** を育てる

< 産業集積 >

- **多元的成長力を持つ産業集積** を高める

戦略的取組

世界に通用する産業

■ イノベーション活動を牽引するコア企業の創出

- ・ 産業支援機能の充実と連携強化
- ・ 企業のイノベーション活動への支援

■ 圏域内外の連携による新たな事業展開の推進

- ・ 既存の産業集積を越えた産業ネットワーク・クラスターの形成
- ・ 地域産業の課題への対応、連携による支援機能の強化
- ・ 圏域内外との企業間連携の促進



■ 地域の協働による産業人材の確保・育成

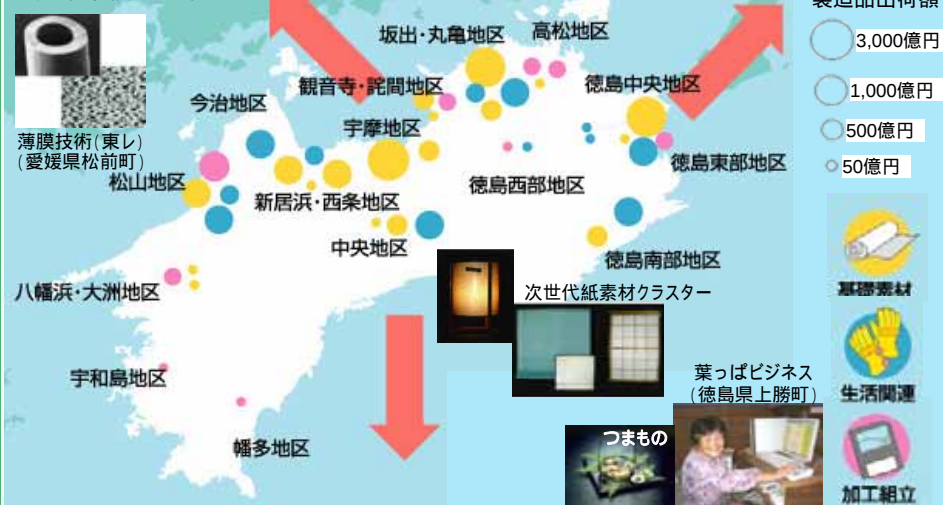
- ・ 柔軟な人材を育成する仕組みの形成
- ・ 産業界や地域の教育機関等と連携した人材育成
- ・ 東アジア等との交流によるグローバルな人材育成



■ 知的財産戦略の構築

- ・ 中小企業等の知的財産の戦略的活用

● 産業集積の分布

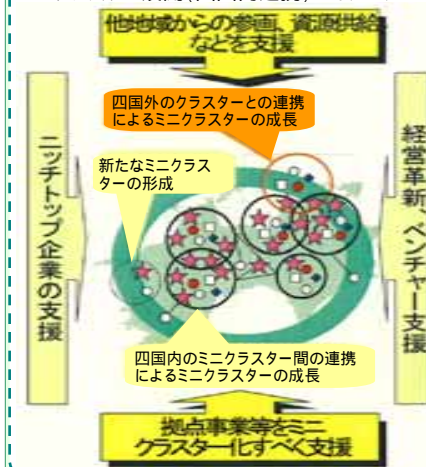


多元的成長力を持つ産業集積

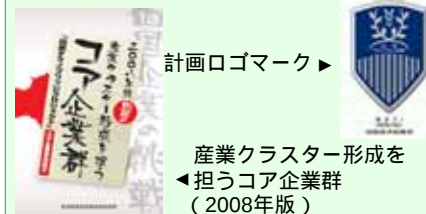
■ 異業種との連携等による新たな展開

- ・ 業種間交流と異業種への進出支援
- ・ 中小企業の生産性向上・潜在力の発揮
- ・ コミュニティ・ビジネスの創出
- ・ 医療・福祉関連産業の創出

クラスター展開 (四国内連携) のイメージ



▲ 四国テクノブリッジ計画



「四国テクノブリッジ計画」: 『技術』をキーワードに産業振興をしようという取組

■ 農林水産業の競争力の強化

- ・ 一次産品を用いた四国ブランドの育成
- ・ 食の安全の強化による付加価値化の促進
- ・ 需要拡大による林業・木材産業の再生
- ・ 漁場環境を活かした水産業の活性化



温州みかん (愛媛県)



なると金時 (徳島県)

■ 地域の特性・強みを活かした企業立地環境の整備

- ・ 国際的な競争力・技術力を持った企業誘致等の支援
- ・ 四国圏に立地するメリットの充実



産業機械用部品 (愛媛県)



紙製造、紙加工販売 (愛媛県)



ナノピンセット (香川県)



- **歴史・文化的資源**を継承し地域の独自性を発揮する

▲四国・九州アイランドリーグ

発展に向けた目標

< 広域的交流の促進 >

- 東アジア・世界との交流を活性化する
- 環瀬戸内海や全国との交流を活性化する

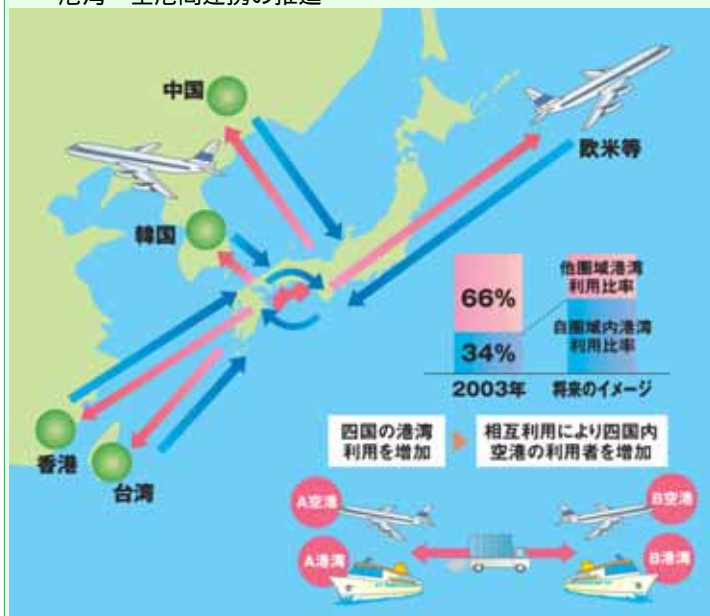
○ 圏域内の交流を活性化する

戦略的取組

東アジア・世界との交流

■ 国際ゲートウェイ機能の強化

- ・ 東アジアや世界を結ぶ効率的な国際交通ネットワークの形成
- ・ 港湾・空港間連携の推進



■ 戦略的な情報発信・PRの強化

- ・ 地域資源活用の支援体制の充実
- ・ 地域資源の戦略的な情報発信とPR
- ・ 国際的なコミュニケーション能力を備えた人材の確保・育成

アジア人財資金構想
シンポジウム

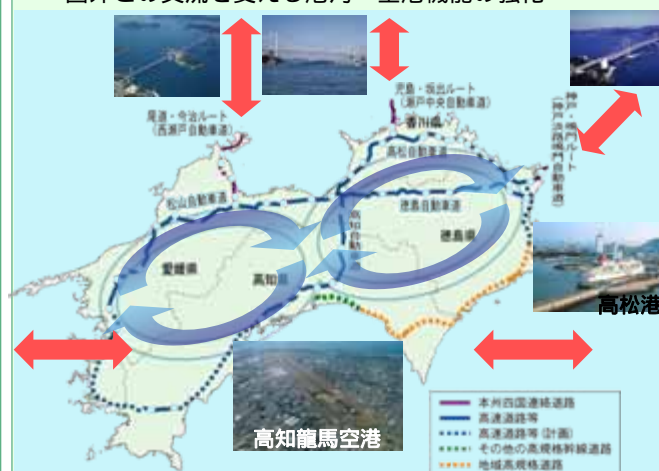


西条市特産の柿フェア
の開催（パノク）

環瀬戸内海や全国との交流

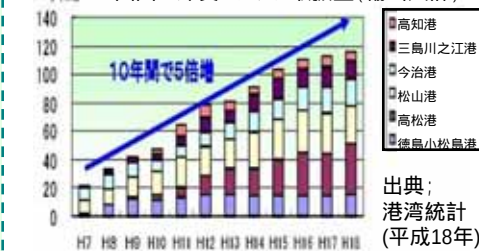
■ 交流を支える四国圏外とのネットワークの強化

- ・ 本四3架橋の有効利用等による圏外との交流・連携促進
- ・ 圏外との交流を支える港湾・空港機能の強化



< 東アジア・世界との経済交流の状況 >

■ 四国の外貨コンテナ取扱量(輸出入計)



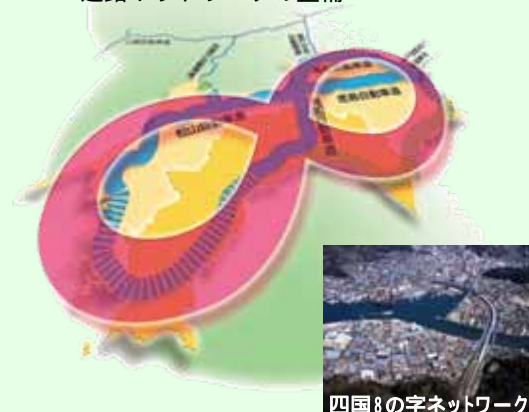
■ 四国圏の地域資源等の魅力の全国への発信

- ・ 交流を担う人材の育成、戦略的な情報発信
- ・ 四国圏へのU・J・Iターンや複数地域居住等の促進

圏域内の交流

■ 各都市の魅力向上と相互連携の強化

- ・ 産業・文化活動等における都市圏相互の結びつきの強化
- ・ 既存高速交通ネットワーク等の利用促進、道路ネットワークの整備



■ 都市と中山間地域等との交流促進

- ・ 複数地域居住等を促す体制づくり
- ・ 環境保全等のための川を介した上下流域住民の交流促進
- ・ 都市住民の農山漁村体験交流の促進



複数地域居住のPR



大阪府から徳島県美馬市に移住



河川文化を情報発信する四国河川文化ネットワーク

発展に向けた目標

< 相互補完の関係による共生 >

- 農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境を支える
- 都市の魅力・快適性を高める

戦略的取組

■ 安心で暮らしやすい農山漁村の形成（日常生活の利便性向上）

- ・ 安全・安心できるサービス機能や生活基盤の確保
- ・ 移動手段の確保、公共交通サービスの維持
- ・ 高度情報通信基盤の整備推進



▲ 離島航路



ブロードバンド環境体験▲
（徳島県神山町・佐那河内村）

■ 地域の魅力向上と都市との交流

- ・ スローライフの促進
- ・ 創意工夫による住環境、福祉、教育環境の整備
- ・ 美しい風景や自然環境保全の仕組みづくりと支援制度の充実
- ・ 農林水産業とふれあう機会の拡大



上勝アートプロジェクト▲



物部川源流ふれあいの森▲



▲ 田んぼオーナー制度
（橋原町四万川）

■ 農林水産業の再生

- ・ 農林水産業の担い手育成・確保
- ・ 地域資源を活かした関連産業の育成
- ・ 鳥獣被害対策の実施



▲ 小手島（丸亀市）

農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境



農山漁村の住民は、医療や買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスを求めて都市部へ

相互補完の関係

都市の魅力・快適性

■ 多様な主体が参加できる個性あるまちづくり



▼ 松山市商店街



病院



娯楽



ショッピング



▲ 高知日曜市

都市の魅力・快適性

■ 集約型都市構造の実現と都市機能の充実

- ・ 都市機能の集積を活かした中心市街地の活性化（香川県高松市）



▲ 市街地の再開発

- ・ 誰もが生活しやすい都市空間の形成



（徳島県美馬市）

▲ まち並み景観の整備



▲ 自転車・歩行者空間の分離



▲ バリアフリー

目 標

安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国

～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～

地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

～グローバル化を生き抜く産業群の形成～

歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～

東アジアを始め、広域的に交流を深める四国

～進取の息吹きを与える交流の創出～

中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国

～農山漁村と都市の共生～

広域プロジェクト

No.1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト

No.2 緑の島四国の森林共生プロジェクト

No.3 南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト

No.4 きらり輝く技術力・健康支援産業クラスター形成プロジェクト

No.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト

No.6 防災力向上プロジェクト

No.7 中山間地域・島しょ部活性化プロジェクト

No.8 四国霊場八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクト

No.9 瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト

No.10 黒潮洗う南海輝きプロジェクト

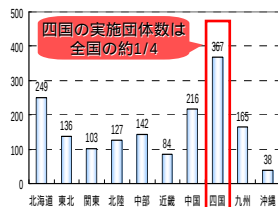
人と文化を育む産学官連携プロジェクト

目的・コンセプト

■四国の将来を考え、具体的な取組を实践できる人材の育成と環境づくり

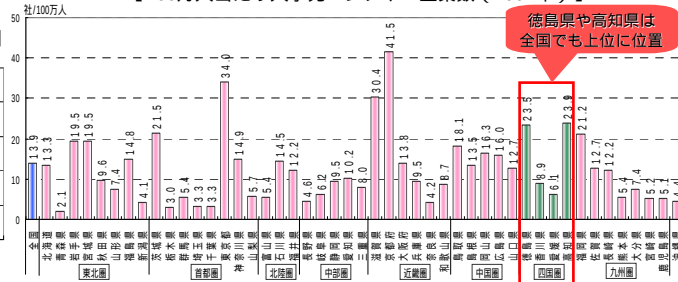
- 今後、圏域の持続的発展に向けて、「四国はひとつ」という意識を共有しつつ、新分野や地域の歴史・文化を活かした地域振興等の取組に挑戦し、四国圏やそれぞれの地域の将来を担う人材を育てるとともに、その土壌を育むことが不可欠である。四国は、優れた人材による多くの創意工夫や活動を通じて文化の形成や技術革新・産業発展等に貢献してきている歴史と伝統があり、こうした文化伝統や歴史を正しく伝承する教育、歴史上の人物の足跡を巡る人物観光等の取組が必要である。また、人口減少や高齢化の進行に伴い、地域社会を支える人材の不足、地場産業における後継者問題、研究開発を支える人材の交流不足が懸念されている。
- このため、**産業連携、文化継承、地域振興、子育て等の分野で具体的な取組を担う人材の育成とそのための環境づくり**に、四国圏が連携して取り組んでいく。

【ボランティア・サポート・プログラム（道路）地方ブロック別の実施団体数（2007年3月時点）】



資料）国土交通省「ボランティア・サポート・プログラム」HP

【100万人当たり大学発ベンチャー企業数（2007年）】



資料）広域地方計画の策定に資する広域ブロックの現状評価データ集

具体的取組内容

(1)「四国はひとつ」という意識を共有し四国の将来を支える人材の育成

- 四国4県の地域シンクタンクの連携強化と四国全域の地域政策を研究・立案するシンクタンク構想の具体化
- 四国の大学の連携による「e-Knowledgeコンソーシアム四国」の推進



【設立シンポジウム】

e-Knowledge
コンソーシアム四国▶



(3)地域や社会の新たな活力を担う人材の活用・育成

- 優秀な人材を持続的に提供していく産学連携による新たなプラットフォームの構築
- 造船業における企業と大学の連携や中国圏との連携による人材育成の取組の推進
- 最先端の科学技術の体験教育や次世代の社会人基礎力の育成の推進

船舶工学関連の寄附講座・船舶工学特別コースの設置（愛媛大学）▶



構造・材料開発研究センター（福山大学）での中国の建築系専門家による交流

- 産学連携による産業分野での先導的中核人材育成の促進

土佐フードビジネスクリエーター人材創出シンポジウム



サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業（新居浜工業高等専門学校）▶



- 四国4県の連携による高齢者の雇用創出や若者の就職促進、OB人材の情報発信の推進



【人材確保セミナー】



【1日漁業体験講習】

▲社会人基礎力育成の取組

- 地域づくり・まちづくりを牽引する人材や地域の産業を支える人材の研修等の推進



【発表会の様子】



▲地域リーダー養成セミナー（松山市）

(2)四国の文化交流や伝統芸能等の継承に向けた人材の活用

- 四国4県の連携による文化交流、伝統芸能の継承に向けた境域、人物観光、情報発信等の取組の促進
- 地域交流に重点を置いた、地域密着型スポーツの振興



4県共同舞台芸術講演～四国の人形～（徳島県）▲



▲四国・九州アイランドリーグ

(4)次世代育成のための環境づくり

- 四国4県の連携による子育て家庭を対象とした割引特典や支援サービスの相互提供等の取組の促進

子育て家庭応援キャンペーン



- 企業と地域社会の連携による子育て支援活動の促進

企業の子育て支援活動促進事業（香川県内）▶

- 地域全体で子育てを支援する取組の推進



子育てタクシー▶



南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト

目的・コンセプト

■「四国の食」ブランドの確立・強化と

国内・国外における競争力の強化

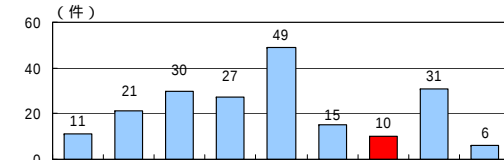
- ・四国圏では、高知のかつお、愛媛のみかん等全国的にも有名な食材が数多く存在する。
- ・これら「四国の食」ブランドの普及促進を展開して、商圏の拡大や食材の1.5次産業化を進めることにより、圏域を支える産業の一つである農林水産業の競争力の強化を図るとともに、圏域内の食料供給力を高めつつ圏域外へも安定的に食料供給できる体制を確立する。

【認知度の高い四国の一次産品】



資料：四国経済連合会「四国外住民の認知度」
(四国の一次産品に関するアンケート)

【地域団体商標登録件数(食に関する件数)】



資料：経済産業省 特許庁 地域団体商標2008(H20.6)

具体的取組内容

(1)「四国の食」ブランドの確立・強化に向けた生産者への支援、食関連産業の育成

- 品質強化のための4県共通の認証制度設計の取組やブランド力の強化

▼「とくしま安²(あんあん)農産物」認証制度



▼海外向け産品のMSC認証の獲得

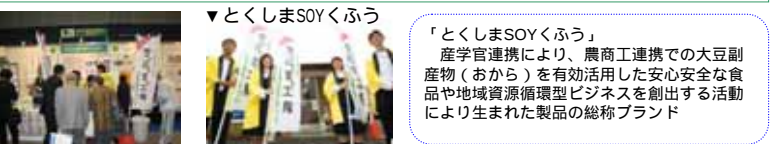


MSC認証とは、水産資源や海洋環境を守って獲った水産物に与えられる証。土佐鰯水産(株)(高知県)が、カツオ漁で世界初の認証本審査開始。(国内漁業では2例目)

- 四国圏の地域団体商標登録の普及拡大



- 産学官連携・農商工連携による栽培・養殖技術や新品種改良等の技術開発の促進



- 生産量増加に向けた取組や農林水産業の経営強化に向けた支援の推進

【農商工連携ファンド】

中小企業者と農林漁業者との連携体を実施する新商品の開発等の新たな取り組みに対して助成金を交付するスタート・アップ応援型のファンドであり、各県の地域の特徴やニーズに応じ、中小企業者と農林漁業者が協力して行う農商工連携による地域経済の活性化を目指すもの。

(土佐黒潮牧場の鋼製大型ブイ)



【土佐黒潮牧場】

鋼製大型浮魚礁ブイを土佐湾沖合に設置し、ブイの周りに集まった魚を効率的に漁獲。現在12基の浮魚礁が高知県海域に設置。

- 地産地消の促進

▼ぎょしょく教育



「愛媛大学南予水産研究センター」では地域と密着した食育活動として、「ぎょしょく教育」の展開を図っている。

▼学校給食における地元産食材の利用



南国市では中山間地域の棚田米や市内産青果の学校給食導入を実施

今治市の学校給食の食材には、地元産の農産物を優先的に使用

(2)東アジアをはじめとする国外や国内市場における競争力強化

- 国外及び大都市圏での四国ブランド商品の販路拡大に向けた4県連携によるプロモーション活動の実施



▲香川・愛媛 せとうち旬彩館

首都圏における香川県・愛媛県の観光物産情報発信の拠点として開設した全国で初めての二県共同によるアンテナショップ。

▼東南アジアでのPR活動



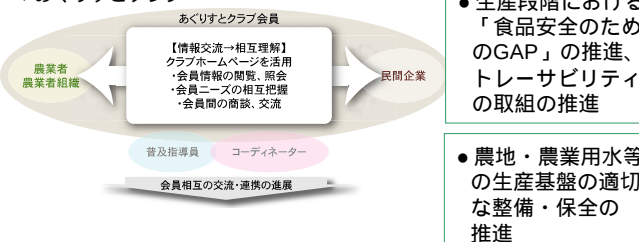
「上海にアンテナショップ開設(4県知事会談より2009.2.開催)」上海中心部にある展示即売施設の一角にアンテナショップを開設し、農水産加工品や調味料、地酒など4県の特産品を並べ、現地の事業者へPRする。

- 農商工連携による食品加工流通の集約化の促進

(3)「四国の食」ブランドを支える農林水産物の生産体制の確立

- 農林水産業を支える経営感覚に優れた農林漁業者の育成、集落営農組織の育成・法人化、新規就農者の育成・確保

▼あぐりすとクラブ



きらり輝く技術力・健康支援産業クラスター形成プロジェクト

目的・コンセプト

■産業支援活動・産業基盤整備と産業クラスターの形成

- ・四国圏には、世界的シェアを有する先端素材産業を始め特徴を有する多様な産業集積が存在し、それを支える技術力が蓄積されており、瀬戸内海沿岸域の造船・船用産業クラスター等のものづくりや健康・バイオを中心とした医療福祉分野に関するミニクラスターが形成されつつある。
- ・ミニクラスターを面的広がりのある重層的なネットワークへと発展させていくため、圏域内の市場規模、圏域外との交流の機会等に関する課題・制約を克服しつつ、広域連携等に向けた産業支援活動や産業基盤整備等を進め、造船業をはじめとするものづくりクラスターと健康支援産業クラスターの形成を目指す。

【四国内のトップシェア企業】

世界に誇れる企業が多数存在

	世界一・日本一
徳島県	15(2)
香川県	30(3)
愛媛県	37(5)
高知県	18(2)

資料) 四国が誇る日本一・世界一 (H16 四国経済産業局)

【四国テクノブリッジ計画】

括弧書きは世界一の企業数

地場技術を活かしたものづくりや健康バイオ分野のクラスターが形成

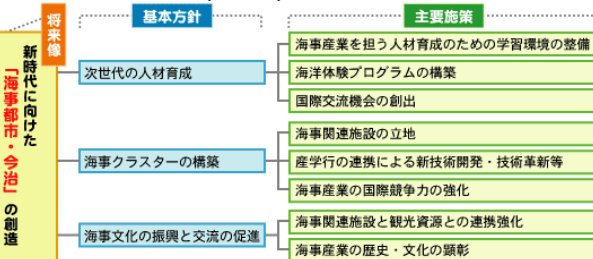
微細構造加工デバイス
糖質バイオ
溶接・表面改質
東予ものづくり 徳島健康・医療産業
次世代紙加工
ライフサポート 環境関連モノづくり
次世代情報デバイス用薄膜ナノ技術
ものづくり分野
健康バイオ分野

具体的取組内容

(1) クラスターの形成・成長に向けた取組の推進

●造船・船用産業や海運業等の活性化に向けた取組の推進

▼今治市海事都市構想(今治市)



●素材研究・製品開発等の実験機材・情報等の共有化による圏域内のクラスター間の連携推進

●クラスター形成のコアとなる分野に関する産学官連携の取組の推進

【ZnOビジネス21フォーラム】
ZnOは次世代の電子材料、光学材料として、その特異な物性を背景に、多くの期待が寄せられている。
本フォーラムはこれからのビジネスモデルとして、出口を個々に明確にした、「材料メーカー」、「装置メーカー」、「エンドユーザー」による縦型ヴァリューチェーンモデルを目指すことを目的として設立。

▼コア企業の支援、優位技術の情報発信



●四国内各地における産業クラスター形成に向けた構想の推進

- <徳島県>
 - ・LEDバレイ構想
 - ・徳島健康・医療クラスター構想
- <香川県>
 - ・糖質バイオクラスター構想 等

ものづくり

LEDバレイ構想(徳島県)▶

基本目標「21世紀の光源であるLEDを利用する光(照明)産業の集積」



【光カゼボドーム】



【LED街路照明灯】

▼ものづくり分野における優位技術の例



【酸化亜鉛膜液晶パネル】



【ナノピンセット】



【デザイナーとのマッチングによる商品開発】～そうじくろ～

健康・バイオ



◀糖質バイオクラスター構想(香川県)

「希少糖プロジェクト」や「機能糖鎖プロジェクト(糖鎖・複合糖質)」等の糖質バイオ研究を生かした、新製品や新事業を生み出す国際的な研究拠点や産業集積の形成

▼健康・バイオ分野における優位技術の例



【希少糖試薬】



【小麦発酵抽出物を活用した化粧品】



【酸素ガス加圧食品殺菌装置】

(2) 世界市場等への事業展開に向けた広域的連携の推進

札幌&四国B10ビジネス マッチングin大阪 (平成20年1月31日)▼



【展示会】

- ビジネスマッチング交流会・産業研究会の開催や他圏域の産業クラスターとの連携、製品・技術・販路の交流・連携の促進

- 大学等の研究成果の紹介や技術移転、産学連携の共同研究立ち上げ、知的財産活用を支援する取組の推進



【セミナー風景】

▲四国テクノブリッジ フォーラムミニセミナー in名古屋(平成20年1月23日)



▲四国TLO

- 多様な主体の参加・連携によるクラスターを支える新事業展開を資金面等から支援する取組の推進

【とくしま経済飛躍ファンド】
競争力を有するオンリーワン産業を創造するため、その推進に資する各種事業を行うとする中小企業者等に対し、事業の実施に必要な経費の一部を助成し、徳島県の産業振興、地域経済の活性化を図るもの。

【かがわ中小企業応援ファンド】
中小企業者や地場産業関係組合等の研究開発や販路開拓、人材育成等に対して総合的な支援を行うことにより、地域経済の活性化を図るもの。

- 静脈物流ネットワークの形成に向けたリサイクル拠点の整備の推進



▲愛媛県三島川の江港
完成予想図

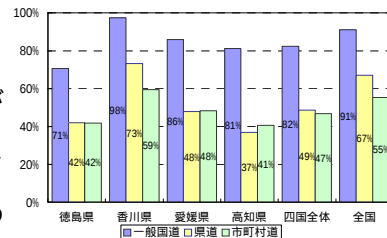
圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト

目的・コンセプト

■活力・魅力あふれる地域の形成

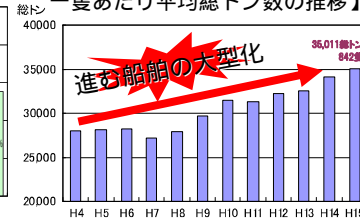
- ・四国圏が自立し持続的に発展していくためには、交流人口を増やすとともに、住みやすい、住みたくする地域とすることが重要であり、そのためには、圏域の**活力や魅力を高め、地域力を向上**させる必要がある。
- ・そこで、圏域内の連携意識や一体感を高める地域の活動や交通ネットワーク基盤の強化等により、**圏域内及び東アジアを含む他圏域との交流・連携を図るとともに、中心市街地の活性化等による都市機能の強化に取組、活力・魅力あふれる地域の形成を目指す。**

【道路改良率の状況】



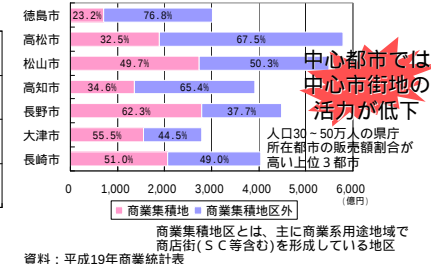
資料：道路統計年報（H19.4現在）

【四国の重要港湾入港外航船舶の一隻あたり平均総トン数の推移】



資料：四国港湾・空港ビジョン（H19）

【商業集積地区における販売額構成比】



資料：平成19年商業統計表

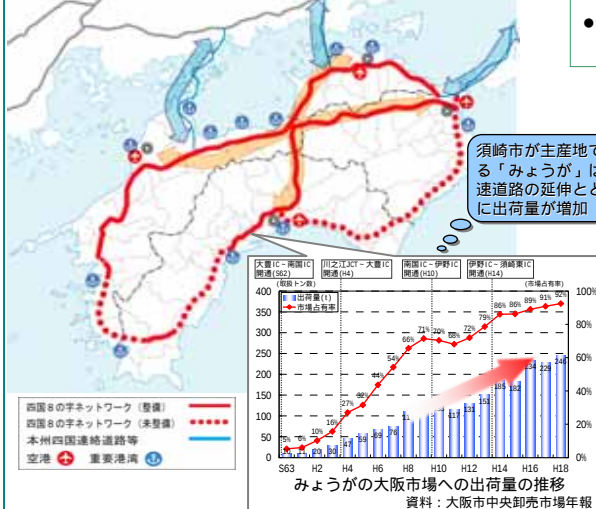
具体的取組内容

(1) 交通インフラの整備等による圏域内における交流の活性化や国内他圏域との交流・連携の強化

- ・圏域内外の交流活性化等による活力と魅力の向上に必要不可欠な、四国8の字ネットワークの整備推進

- ・社会資本の高齢化に対応した適切な維持管理等による施設の長寿命化の推進

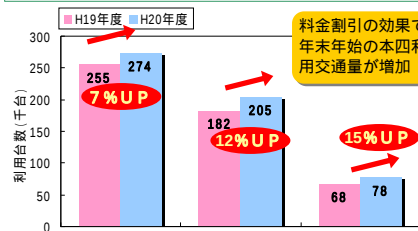
- ・道路情報や災害情報等の移動支援に向けた情報提供サービスや情報通信環境の充実



▲道路情報提供システム（四国地方整備局）

- ・住民総参加型による地域力再生の取組の促進

- ・本四3架橋のより一層の効果的な利用による四国圏外との交流・連携の促進による広域観光の推進や地場産業の振興



▲高速道路料金引下げによる効果
資料：本四高速記者発表

(2) 国際ゲートウェイとしての港湾・空港及び国際幹線航路の機能強化

- ・多目的国際ターミナルの整備や各港湾の特長を生かした広域的な連携の推進
- ・瀬戸内海を航行する船舶の安全性及び物流の効率性の向上、関係機関と連携した総合的な航行安全対策の推進
- ・東アジア諸国等海外との国際定期便や国際旅客チャーター便の就航によるインバウンド観光の推進

国際線のチャーター便▶



（高松空港）

- ・四国の港湾と東アジア諸港を結ぶ国際定期コンテナ航路の就航便増加や新たな航路の誘致の推進



▲ポートセミナーの開催 ▲国際コンテナ航路の誘致、拡充

- ・スーパー中枢港湾と結ぶ就航便増加等による内航フィーダー網の充実

- ・「次世代シングルウィンドウ」の活用による四国の港湾・空港におけるサービス水準の向上

(3) 都市における機能強化・集約化と良好な都市空間の形成及び都市の役割分担と連携の強化

- ・都市機能が強化・集約化された都市拠点の形成に向けた都市基盤整備の推進
- ・魅力的な歴史的風致をもつまちづくりやまち並み環境の保全等による景観形成の推進



（香川県高松市）
▲市街地の再開発



（徳島県美馬市）
▲まち並み環境の保全

- ・まちなかへの公共公益施設の立地促進、都市公園・緑地の整備、空き店舗等既存ストックの有効活用等による良好な都市空間整備の推進

- ・公共交通の利用促進・利便性の向上、歩行者・自転車の安全な通行空間の確保

- ・自然エネルギー由来の電力創出を通じたエネルギーが循環するまちづくりの推進



▲太陽光発電システム

- ・川を活用した賑わい創造の活動や、川を通じた周辺市町村との連携等による賑わいのあるまちづくりの促進

- ・生活に必要な都市機能を広域的な連携により確保する定住自立圏構想の取組の推進

- ・国内他圏域と四国を結ぶ海上輸送の拠点となる複合一貫輸送ターミナル等の整備推進



交流促進を支えるターミナル機能の強化▶

（徳島小松島港）

- ・都市と中山間地や重要港湾・空港と高速道路ICを連絡する幹線道路の整備推進
- ・重要港湾・空港と都市の中心部の鉄道駅とを連絡する機能を強化

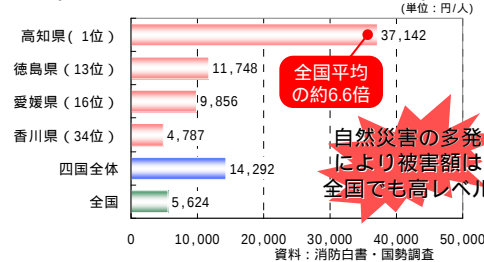
防災力向上プロジェクト

目的・コンセプト

■安全・安心に暮らせる災害に強い圏域の形成

- ・四国圏は、地形的特性や台風常襲地帯に位置していることなどから、毎年のように水害、土砂災害、高潮災害等が発生しているとともに、近い将来、**東南海・南海地震とこれによる津波**の発生が想定されており、これらの**災害に対応しうる防災力の向上**が急務となっている。
- ・また、慢性的に発生し、住民生活や企業活動等に大きな影響を与えている**湯水問題**に**取り組む**など、災害による被害を軽減し、**安全・安心に暮らせる圏域を形成**することが必要である。

【1人当たり自然災害被害額】
(平成11年～20年の過去10年間の平均)
(単位:円/人)



貯水率0%時の
早明浦ダム
の状況
(H20.9)

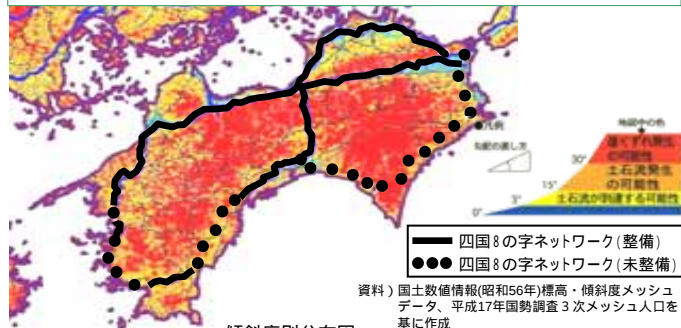


◀ H17.9台風14号
によるがけ崩れ
の状況
(高知県大豊町)

具体的取組内容

(1)地震災害や台風・豪雨災害の軽減に向けたインフラ整備と防災施設整備

- ・圏域の安全・安心を支える基盤となる四国8の字ネットワークの整備推進



- ・台風・豪雨による水害や土砂災害を軽減する計画的な治水対策、老朽ため池の改修・補強等、治山施設の設置等の推進
- ・津波対策、高潮対策や侵食対策、緊急輸送道路等における橋梁耐震対策や災害対策の推進



高潮対策
(高松港海岸)



▲津波防波堤(須崎港)

- ・「道の駅」の防災拠点化や臨海部の防災拠点として緊急物資輸送を担う耐震強化岸壁や避難地として機能する緑地等の整備推進

- ・地震発生時に危険な住宅密集地の解消の推進

(2)災害時の広域的な相互救援活動を円滑にする連携体制の整備や自主的な防災組織の確立に向けた住民の防災意識の向上

- ・自治体による防災ハザードマップの早期整備・普及の推進
- ・国の機関や4県が参画した「四国東南海・南海地震対策連絡調整会議」による広域合同演習の実施等、災害時の連絡体制の充実を目的とした取組の推進
- ・4県による四国圏内や他圏域との協定を活用した相互応援体制構築の推進
- ・国、県、自治体、大学、民間事業者による業務継続計画(BCP)の策定の推進
- ・高知県が創設した「みんなで支える防災総合補助金」等の制度活用や、防災教育による地域の防災力向上に向けた取組の推進
- ・民間事業者等との連携による帰宅困難者支援協定の締結等の取組の推進
- ・自主防災組織の結成促進及び育成や活性化の指導、高齢者等に対する災害時要援護者対策の推進

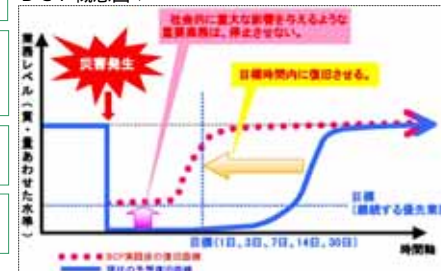


▲「四国東南海・南海地震対策
連絡調整会議」の開催状況



▲四国4県共同防災訓練

B C P概念図▼



▲高松市防災マップ

(3)新たな水資源の確保と水資源の有効活用等による安定した水資源の確保

- ・湯水発生頻発地域における新規ダムの整備・既設ダムの再開発・ため池の整備の推進
- ・下水処理水の再利用や雨水利用貯留施設などへの助成制度等、水資源の循環利用促進に向けた取組の普及拡大
- ・湯水時における水利使用の調整や松山市の「節水型都市づくり」の拡大
- ・四国圏における水資源の有効活用と治水・利水・環境の合理的な恒久対策及び実施方策の確立による、効率的な水資源利用のための取組の推進



▲下水処理水の再利用



▲四国水問題研究会

目的・コンセプト

■ 地域活性化につながる取組が活発に営まれる地域づくり

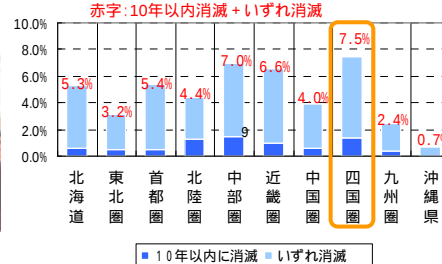
- ・四国圏内の中山間地域や半島部・島しょ部は、耕作放棄地の拡大等基礎的条件の厳しい集落が多数存在するが、これらの地域の国土保全等を進め、**住んでいる人が活力を持ち続け、地域活性化につながる取組が活発に営まれる地域づくり**を目指すことが圏域の発展のために必要不可欠である。
- ・こうした中、四国圏においては高齢者が活躍して、つまもの（葉っぱ）を販売するというユニークなビジネスを立ち上げた徳島県上勝町や、地域で生産されている柚を使用したポン酢醤油やジュース等、地域資源の杉を使用した靴や食品トレー等の新商品を開発し、国内だけでなく、海外へも販路を広げている高知県馬路村の取組など、全国のモデルともなっている先進的事例も数多く、これらの**取組を圏域全体に拡大し、展開していく**必要がある。

【ブロードバンドの利活用】
～町内全域に
光ファイバ網を整備～



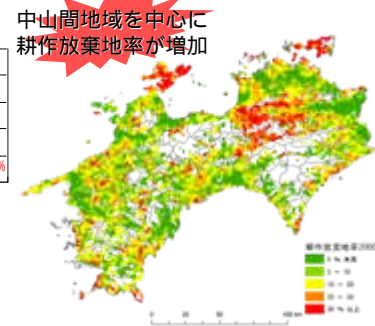
おばあちゃんたちの葉っぱ
ビジネス 彩（いろどり）事業
（徳島県上勝町）

【消滅の可能性がある集落】



出典）国土形成計画策定のための
集落の状況に関する現況把握調査
（H18.4時点）国土交通省

【耕作放棄地率メッシュ図】



出典）2000年農林業センサスデータをもとに
3次（1km）メッシュ化し作成

具体的取組内容

(1) 安全で安心できる生活環境づくり

- 都市と中山間地等を結ぶ幹線道路や生活道路等の道路網の整備、離島航路を支える港湾整備の推進とともに、地域活性化バスの取組を通じた、地域の生活路線や離島航路等の公共交通サービスの維持・向上の推進

▼1.5車線の道路整備県道畑山栃ノ木線
（高知県安芸市）



▼離島航路（中島汽船）



- 医療従事者の確保や巡回診療等の医師の派遣、遠隔医療ネットワークの連携の拡大、防災ヘリのドクターヘリの活用やドクターヘリの導入等の推進

▼とくしま医師バンク事業（徳島県）



▼遠隔医療ネットワーク



【医師バンク事業】
地域医療を支える医師を確保する施策として、医師が不足している公的医療機関等に、登録している医師・医学生を無料で派遣または紹介するシステム。また、地域医療の実習や研修会も開催している。

- 新たな公による高齢者の「見守り」「介護」活動や、住宅等のバリアフリー化、高齢者福祉施設を併設した公的賃貸住宅整備への支援等の推進

▼「命見守り ほっと安心」地域福祉
MAPづくり（香川県まんのう町）



▼高齢者福祉施設を併設した公的賃貸住宅
整備への支援等



- 集落単位での防災力の向上と近隣集落とのコミュニティクラスターによる災害自治活動、地元建設業者との連携や、土砂災害等の防止対策、密集地域の整備等の推進

▼災害自治活動



住民の手づくりヘリポート
（高知県越知町桑敷自主防災組織）



起震車体験と出前授業で連携
（高知県南国市白木谷小学校）

▼地元業者との連携



災害発生時の派遣要請員養成のため、
国交省および県職員・民間事業者を
対象にした、災害時災害対策用機械類
及び情報通信システムの操作訓練

▼土砂災害等の防止対策・密集地域の整備等の対策

【防災機能の集落連携のイメージ】
個々の集落の防災機能を高めるとともに、
近隣の集落を含めて相互の防災機能の
補充により、『地域防災力』の向上を図り、
中山間地域の安全性を確保する。



中山間地域の
防災を考える
シンポジウム開催
（2009.2.21高知県）

- 若者居住や生活利便性の確保に向けたブロードバンドゼロ地域の解消や情報通信環境の充実の推進



ブロードバンド未整備地域の住民を対象とした
ブロードバンド環境体験会
（高知県馬路村、大川村 平成20年2月）

(2) 農林水産業を始めとする地域資源を活かしたビジネスチャンスの拡大・働く場の確保

- コミュニティ・ビジネスの立ち上げ等を支援するため、関係機関の連携による支援体制の構築



◀道の駅等での新鮮野菜
(徳島県 道の駅「日和佐」)

グランドを駐車場利用



▲廃校を活用した複合住宅 (徳島県上勝町)



フォーラム「四国サイコー」

中国四国農政局、四国経済産業局、中小企業基盤整備機構四国支部との共同で、地域の活性化を図るために国が進めている「新連携事業」、「地域資源活用事業」及び「農工商等連携事業」に取り組む事業者及びそれらを支援する関係機関等を参画メンバーとする組織体で、メンバー相互の交流や支援機関等によるハズオン支援を通じた新たな事業展開の芽の育成や売れる商品づくり、国内外への事業展開の促進を目的として設立。

- 地域の創意工夫を活かした生産基盤を整備する取組、地域資源を活用した中小企業による新商品・新サービスの開発・事業化等の取組の推進



◀四国地域資源活用ハンドブック
【地域産業資源活用事業計画の認定事例】



ゆずスポーツドリンクの開発・販売等 (高知県馬路村)



新製法による柑橘オリーブオイル
基礎化粧品の開発・生産・販売 (香川県小豆島町)



◀農工商等連携ハンドブック
【農工商等連携事業計画の認定事例】



徳島杉の間伐材を利用したつみき型
ブロック工法による新しい企画住宅の
設計・販売 (徳島県東みよし町)



特別栽培農産物等認証の完熟
トマトを活用した加工食品の
開発・製造等 (愛媛県内子町)

- 農業・林業・観光業等の異業種連携を進め、地域産業の再生や耕作放棄地の解消、雇用の維持・拡大の推進

▼企業等の農業等異業種への参入



「建築廃材を活用した塩化ビニル
パイプのかん水施設」
(香川県小豆島町)

- 耕作放棄地の解消や農業を軸とする集落的活動を支援する取組の推進

- NPOによるコミュニティ・ビジネスの立ち上げ等を支援するためのNPO支援や担い手の研修等の取組の推進

(3) 都市との多様な交流促進と農山漁村の魅力の向上

- 複数地域居住の推進

- ▼ 短・長期滞在関連情報のワンストップ情報提供サービスの充実



【癒しの国・四国で暮らすホームページ】
(癒しの国・四国 交流・定住促進事業実行委員会)



【愛媛移住支援ポータルサイト (愛媛県)】

- ▼ 空き家の修繕活用等



空き家バンク (愛媛県久万高原町)

- 農山漁村体験の取組の推進

- ▼ 子ども農山漁村滞在・体験型学習



カツオたたき体験
(高知県幡豆地域)

- ▼ 棚田オーナー制度



神在居の千枚田
(高知県橋原町)

- ▼ グリーンツーリズムやエコツーリズム等の農山漁村体験



技の館ふれ藍工房
(徳島県上板町)

- 農山漁村の景観・環境保全のための取組や地域の伝承・伝統行事を支える住民活動、施設の保全等の取組の推進

- ▼ 重要文化的景観の選定

【全国初の5市町連携による重要文化的景観に選定】
(高知県四万十町・梶原町・津野町・中土佐町・四万十市)



三島中州の農地 (四万十町)

【重要文化的景観 (文化庁)】

重要文化的景観の選定制度は、平成17年4月1日の文化財保護法の一部改正により施行された新しい文化財保護の手法がある。日々の生活に根ざした身近な景観である文化的景観の中でも、文化財としての価値から特に重要なものについて、都道府県又は市町村の申出に基づき、「重要文化的景観」として選定することができる。

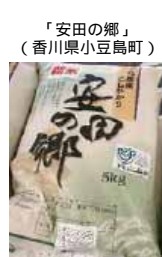
- 地域ぐるみのコミュニティ活動や地元産米等の地域資源を活かした農産品のブランド化等、農業者ぐるみの先進的な営農活動を支援する取組の推進

- ▼ 農道・水路等の草刈りや清掃活動による環境保全



花植 (徳島県阿波市)

- ▼ 地元産米等の地域資源を活かした農産品のブランド化



「安田の郷」
(香川県小豆島町)



「乙姫米」
(徳島県美波町)

【農地・水・環境保全向上対策 (中国四国農政局)】
農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が、高齢化や混雑化等により困難になってきていること等、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められていることから、地域ぐるみで効果の高い共同活動と、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を支援する「農地・水・環境保全向上対策」が平成19年度からスタートした。

- 関係機関間で連携して適切な支援を行う体制の構築、関係機関の多様な支援ツールを用いた、市町村の発意に基づく地域資源を活用した地域づくりの支援

市町村の発意に基づく地域資源を活用した地域づくり▼
【「地方の元気再生事業」に選定された団体 (抜粋)】



「伝説が見える・伝わる、観光まちづくり」 (徳島県三好市)

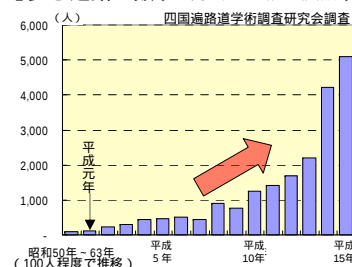
四国霊場八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクト

目的・コンセプト

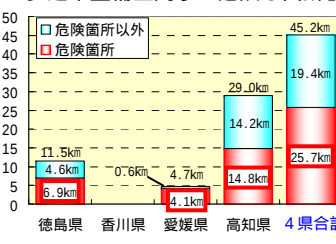
■四国霊場八十八箇所と遍路文化を核としたまちづくり・地域づくりの展開

- ・四国霊場八十八箇所巡礼の歴史の中で培われてきた「**遍路文化**」は、**四国共通の文化・アイデンティティとして、次世代に引き継いでいく重要な文化**であり、近年では、心身のリフレッシュ、精神修養の場として、歩き遍路も増加している。このため、四国霊場八十八箇所とその遍路道は、人が歴史と文化に触れ合い精神を高める上で重要な価値を有する人類共通の世界的な文化遺産といわれ、国内のみならず世界的にも重要な周遊型の観光資源である。
- ・しかしながら、四国霊場八十八箇所の門前町の多くは、人口減少や高齢化によりかつての活気や景観が失われており、また、遍路道の保全をはじめ、地域資源・観光資源としての保全・活用が不十分な状況にあることから、周辺の観光拠点と合わせて地域の魅力の向上を図り、遍路道を通じて地域と地域をつなぎ、遍路文化を活かした美しい地域を次世代につないでいく必要がある。

【歩き遍路の数（雲山寺「歩き遍路」の記載数）】



【歩き遍路が利用する直轄国道の歩道未整備区間うち危険な箇所】



具体的取組内容

(1)お遍路札所周辺の活性化

- 各札所周辺・遍路道の文化的・広域的景観の保全・修景を4県や関係市町村が連携して推進
- 景観計画や歴史的風致維持向上計画等の策定や、札所周辺や遍路道の整備・保存の推進

- ▼にぎわいのある札所周辺のまち並み
- ▼景観資源の発掘と景観のまちづくりのためのワークショップ（徳島県）



（「四国の道フォトコンテスト」入選作品）



- 札所周辺の活性化等に向けて、地域住民と一体となったお遍路を活かしたまちづくり・地域づくりの推進

▼門前通り修景イメージ

四国霊場第一番の門前まちとして商店街の再構築を模索し、「JR四国板東駅をまちの玄関口とし「おもてなしステーション化」と「発心とふれ合いのまちづくり」を目指して検討中

▼お接待研修（愛媛大学）



「お接待の心」、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、チームワーク力の養成等を目的に実施

▼へんろ道調査2007（四国風景街道）



(2)安全で快適に巡る環境整備

- 歩き遍路の主な経路における危険箇所対策の推進

▼既存トンネルの安全向上の検討



▼歩道整備



- 道の駅等の休憩所・公衆トイレの整備の促進

▼道の駅（日和佐）



足湯→

▼遍路小屋



↑高松市飯田町



高知県香南市→

- 休憩所・公衆トイレ・コンビニエンスストア等の場所・情報を記した遍路道全域MAPの作成



▲内海中学校（愛媛県愛南町）の学生により作成された手作りマップ

(3)四国圏共有の歴史・文化遺産としての保全と活用

- 世界遺産登録を目指す「四国遍路世界遺産登録推進自治体協議会」等の枠組みの強化

▼官民協働の世界遺産登録に向けた取り組み



▼NPOによる遍路道のごみの実態調査（四国EPO）



四国地域の環境保全活動、ごみ問題への啓発推進に繋がればと、実態調査を実施

- 外国人観光客に対応した観光ボランティアガイドの育成や情報発信のコンテンツの多言語化の推進

- 地域商社・NPO・大手旅行代理店との連携による遍路文化の簡易体験型観光メニュー、モデルコースの開発・展開

▼外国人のための遍路体験



▼留学生と日本人の「お接待」ワークショップ



留学生26人、日本人学生17人、スタッフ6人が徳島県鳴門市の1番～3番札所周辺にて実施



▲サイクル駅伝

- 遍路文化をテーマとした映画等や、歴史文化道の取組を通じた、世界や国内に向けた情報発信の推進

歴史文化道の表示例▶



瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト

【目的・コンセプト】

■環境保全と魅力向上によるフィールドミュージアムの形成

- 瀬戸内海は、古くからの交流の歴史と多彩な自然を有する日本随一の内海であり、人々が訪れたい魅力ある地域とするため、**環境の保全や景観の保全を進め、多様な歴史・文化遺産、美術館・博物館等の魅力を更に高め、瀬戸内海及びその周辺を「瀬戸内フィールドミュージアム」として形成していくことが必要である。**
- 本プロジェクトは中国圏等の隣接する圏域とも連携した取り組みを行う。



【瀬戸内海沿岸の主要観光地入込状況】

施設名	単位	18年度	19年度
徳島県 大鳴門橋架橋記念館	人	73,827	95,391
徳島県 渦の道	人	591,916	597,660
徳島県 阿波おどり会館	人	125,363	151,375
香川県 栗林公園	人	622,602	624,881
香川県 香川県立ミュージアム	人	100,075	72,481
香川県 二十四の瞳映画村	人	216,094	217,915
香川県 寒霞渓ロープウェイ	人	256,000	273,000
香川県 瀬戸大橋記念館	人	75,468	82,760
香川県 琴平の入込客数	人	2,975,000	3,202,000
香川県 中津万葉園（有料入園者のみ）	人	42,438	36,116
香川県 地中美術館（直島）	人	92,113	120,815
愛媛県 しまなみ海道レンタサイクル	人	21,875	23,628
愛媛県 村上三島記念館	人	4,085	4,297
愛媛県 大正島美術館	人	8,538	8,710
愛媛県 村上水軍博物館	人	45,948	48,492

「平成19年度四国の主要観光地入込状況について」
(H20.7.16 四国運輸局)を基に加工

具体的取組内容

(1)瀬戸内広域観光の形成と世界に向けた情報発信

- 海外に向けた瀬戸内海観光に関する情報発信の推進

▼英語版観光PRサイト（高松市）



高松港とフェリー等で結ばれる直島が「現代アートの島」として欧米から注目されており、行き帰りに高松に立ち寄ってもらうことが狙い。

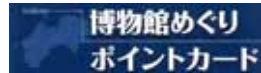
- 瀬戸内広域観光のモデルコースの設計、スタンプラリー、入館料割引等による瀬戸内海における美術館等の連携の強化

▼せとうち美術館ネットワーク（本四高速）



旅の美術館手帖
(瀬戸内アートネットワーク)

博物館めぐりポイントカード
(四国地区博物館協議会)



- 瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に瀬戸内海の島々を紹介する取組の推進

▼瀬戸内国際芸術祭



- 2010年7月19日～10月31日
- 瀬戸内海の7つの島+高松
(直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島)

島々の歴史や文化を活かした現代アートの祭典

- 瀬戸内海の情報を発信するポータルサイトの充実

▼瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会



▼瀬戸内しまなみ海道振興協議会



平成19年4月1日
「瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会」と「瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会」が統合して設立。

(2)クルーズ観光の推進及び交通環境の整備

- クルーズ船を活用した観光振興の推進

▼せとうちクルーズフェスタと瀬戸内海ミニクルーズ



2009年1月1日から豊島（香川県小豆郡土庄町）と直島、高松を結ぶ定期航路「アートライン」が就航
豊島の家浦港—高松港間の1日3往復を金、土、日曜と祝日に限り4往復に増やし、そのうち2往復は直島の本村港を経由

- 離島等の交通環境の整備推進

▼直島への就航便



(3)地域住民、NPO、行政、企業等の多様な主体の連携による瀬戸内海の環境保全・活用・修復や景観保全

- 住民・NPO・行政等のネットワーク構築による環境保全等の取組推進
- 多様な主体による海辺や海上でのごみ等の回収・処理の実施

▼平成20年度リフレッシュ瀬戸内の実施状況

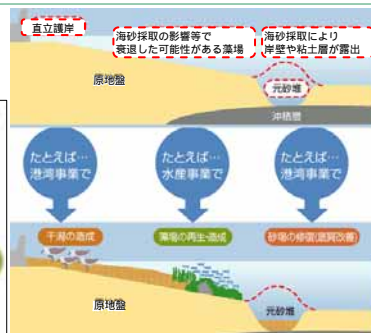
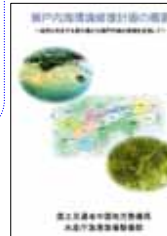


四国地方では22,545人参加し237tを回収
中国地方では27,137人参加し180tを回収

- 海ごみの回収の体験会等の実施、発生抑制に関する普及啓発活動、漁業者に対して海ごみ回収処理対策を呼びかける活動の推進

- 瀬戸内海の景観保全に向けた景観計画の策定推進
- 「瀬戸内海環境修復計画」に基づく多様な主体の連携・参画による浅場の修復

▼瀬戸内海環境修復計画



- 沿岸域における下水道整備等の推進

下水道普及率
(H19年度末)

徳島県	12.1%
香川県	38.6%
愛媛県	44.7%

連携テーマ

- 広域観光・インバウンド観光の推進
- 産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成
- 瀬戸内海的环境保全と修復
- 暮らしの安全・安心と防災ネットワークの整備
- 広域交通ネットワークの連携促進

広域観光、インバウンド観光の推進

背景・他圏域との連携の方針

■美しい自然風景、豊かな地域資源、独自の文化の存在

他圏域と共有する瀬戸内海は、風光明媚な多島美や変化に富んだ景観を有し、圏域には数多くの地域資源が存在しているほか、四国遍路等の信仰文化や「お接待の心」が根付いている。

■東アジア等をターゲットとしたインバウンド誘致の活発化

東アジアの経済成長によるインバウンドの拡大が予想される中で、近畿圏や九州圏では既に東アジアからのインバウンド誘致を進めており、地域間競争の様相を呈している。

●圏域のポテンシャルを活かし、地域間連携を通じて観光地の魅力と集客力を相乗的に高めるため、特徴的なテーマを持った広域観光ネットワークの形成・強化を図る。

●四国圏でも独自のインバウンド誘致に努めると同時に、他圏域との連携により、東アジア等をターゲットとしたインバウンド観光の推進や観光客受け入れ態勢の整備を図る。

他圏域との連携による取組

■東アジア等をターゲットとしたインバウンド観光の推進

- 台湾からのプログラムチャーター便（高松～岡山・米子・鳥取との共同運航）



国際線のチャーター便（高松空港の事例）

- 上海からのプログラムチャーター便（松山～広島との共同運航）

■観光客受け入れ態勢の整備

- 外国人観光客向け接客マニュアルの共有化やウェルカムセミナーの共同開催の実施



外国人観光客おもてなし入門（四国運輸局）

■広域観光ネットワークの形成・強化

- 瀬戸内海沿岸の連携による国内クルーズの誘致や海外クルーズの外国客船寄港誘致



クルーズのイメージ

■四国圏独自のインバウンド誘致

- 瀬戸内海の歴史・文化資源と四国圏の歴史的まち並み・四国霊場八十八箇所等との連携による巡回型観光ルートの設定
- 四国圏の農林水産品等を活かした両圏域にまたがるスローツーリズムの実施



金刀比羅宮（香川県琴平町）



うだつの町並み（徳島県美馬市）



ゆずビジネス（高知県馬路村）



産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成

背景・他圏域との連携の方針

■ 恵まれた地理的特性等を活かした産業集積

海上輸送に恵まれた地理的特性等を活かして、化学、パルプ・紙・紙加工品等の基礎素材型産業や造船業等の加工組立型産業が集積し、中国圏とともに瀬戸内工業地域を形成している。

■ 世界的シェアを有する先端素材型産業の存在

炭素繊維や電子機器関連素材等の世界的シェアを有する先端素材産業が存在し、先端の技術シーズに関する研究開発が進んでいる。

● 国際化の進展に伴う競争力の発揮に向け、瀬戸内海の沿岸域を一体的な産業集積地とする。

● 産業ネットワークや研究開発の連携等により、経済波及を高め、密接な連携関係を構築する。

他圏域との連携による取組

■ 瀬戸内海における静脈物流の推進



- 三島川之江港を四国圏のリサイクル拠点とし、瀬戸内海沿岸での広域的受け入れ・再資源化の推進

- 徳山下松港・宇部港等との連携による瀬戸内海の静脈物流ネットワークの形成

■ 造船産業ゾーンの形成に向けた取組



- VLCC（大型原油タンカー）等の開発に対応するサプライチェーン強化や人材育成の促進

■ 紙産業の集積と新たな事業展開



多目的不織布製造装置



不織布を利用した商品（掃除クロス）の開発

- 愛媛県・高知県の次世代紙素材クラスターを通じた新たな事業展開



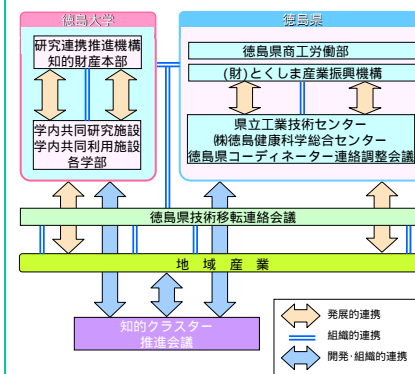
- 四国圏のミニクラスター
- その他の産業集積・構想
- ★ リサイクルポート

■ LEDパレイ構想の推進



- 徳島県内において、LED関連企業の研究所や工場等の集積と、高度技術者の育成や研究開発拠点等の整備によるLEDを利用した光産業の集積

■ 健康・医療やバイオ産業クラスターの推進



- 徳島大学の疾患関連研究と医薬品企業等による健康・医療クラスター形成の促進

- 関西バイオ推進会議への参加を通じた先端のバイオ産業クラスター創成に向けた取組の促進

知的クラスター創成の産学官連携体制（徳島大学）

瀬戸内海の環境保全と修復

背景・他圏域との連携の方針

■生物の生息・繁殖の場である浅場の消失や水質改善の停滞

瀬戸内海は、多様な生物の生息・繁殖の場である干潟や藻場が消失しつつあり、水質汚濁や富栄養化による影響は長期的には改善方向にあるものの、近年は水質改善が停滞している。

■市町村等の協働による海ごみ問題解決の動き

瀬戸内海では、大量の海ごみ対策が課題となっているが、沿岸市町村や府県による美化活動などが展開されているほか、海ごみ問題を共同で解決しようとする動きがある。

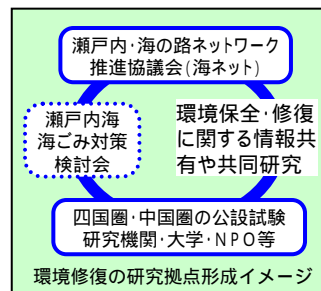
●瀬戸内海を豊かな生活や交流の基盤として活用するため、瀬戸内海沿岸のクリーンアップ活動を推進する。

●瀬戸内海の環境保全、水産資源保護、環境修復のため、研究拠点の形成や、保全・修復のための多様な活動を広域で展開する。

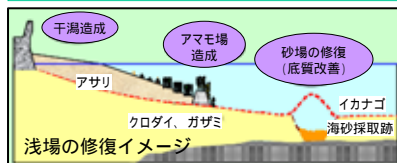
他圏域との連携による取組

■環境保全と修復のための多様な活動の実施

●公設試験研究機関・大学・NPO等による情報共有や共同研究の実施による環境修復の研究拠点形成



●「瀬戸内海環境修復計画」に基づき、様々な主体の連携・住民参加・協働による浅場の計画的な修復

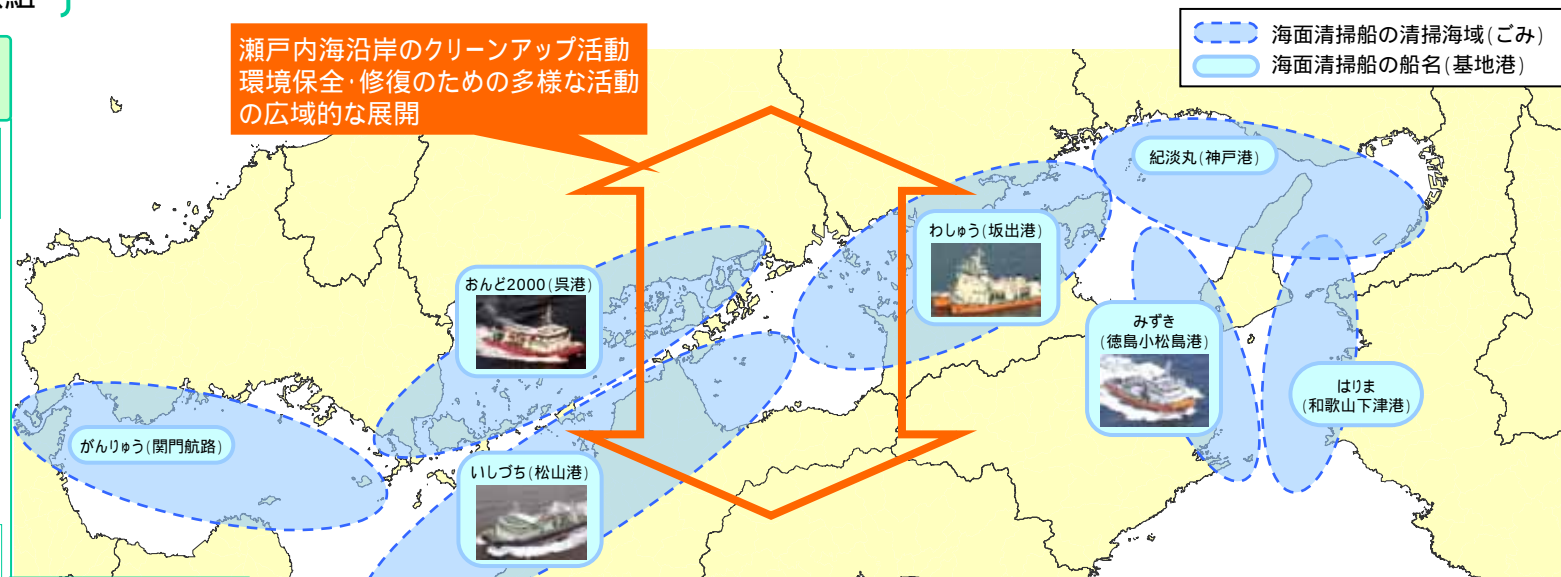


●出前講座・環境学習・現場見学会等を通じた環境保全や修復に関する事業・施策の紹介



瀬戸内海環境シンポジウムの開催

瀬戸内海沿岸のクリーンアップ活動
環境保全・修復のための多様な活動
の広域的な展開



■瀬戸内海沿岸の清掃活動や漂流・海底ごみの回収・処理活動の継続実施

●「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の主催による瀬戸内海沿岸の清掃活動(「リフレッシュ瀬戸内」活動)の継続実施、「海の健康診断調査」の実施



「リフレッシュ瀬戸内」活動

●海面清掃船による漂流ごみ・油の回収活動(海洋環境整備事業)の継続実施

●行政・住民・漁業者の連携による海底ごみの回収・処理等のシステムの構築



「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」
会員市町村(平成19年7月1日現在)

暮らしの安全・安心と防災ネットワークの整備

背景・他圏域との連携の方針

■大規模災害時における海上交通を活用した救援活動の実施

阪神淡路大震災の際、陸上交通網の遮断に対して港を活用した海上交通で救助隊や救援物資の輸送を行っており、広域的な防災への取組においては、この経験を活かすことが望まれる。

■離島住民に対する地域医療サービスの確保

瀬戸内海や豊後水道の離島では、住民の高齢化や人口減少が進行する中で、医療機関へのアクセスが不便な状況にあるが、診療船等により離島住民に対する医療サービスの確保が図られている。

●大規模災害の発生に対して、海上交通・空路を活用した応援・救援体制の連携や広域防災拠点ネットワークの形成等を推進するとともに、広域的な相互救援活動の円滑化を図る。

●離島住民の暮らしの安全を確保するため、診療船等の活動を引き続き推進するとともに、広域的な遠隔医療体制の展開や広域救急医療体制の構築を図る。

他圏域との連携による取組

■広域防災拠点ネットワークの形成

●港湾区域のオープンスペース等を活かして救援物資・人材支援・災害医療支援等の機能を配備した広域防災拠点の整備

■海上交通・空路を活用した応援・救援体制の連携

●瀬戸内海沿岸の広域防災拠点を結び、大量の救援物資や支援部隊を輸送する海上交通ネットワークの構築

■広域的な相互救援活動の円滑化

●他圏域との連携による防災情報ネットワークの構築

●相互応援協定を踏まえ、関係機関との連携による広域的な防災訓練の実施



平成20年度 総合防災訓練(四国地方整備局)

●相互応援協定を踏まえ、防災対応のノウハウを備えた専門的な人材育成等の共同実施

広域的な遠隔医療体制
広域救急医療体制

中国・四国地方の災害時
相互応援に関する協定

危機事象発生時における
鳥取県・徳島県相互応援協定

近畿2府7県
危機発生時の
相互応援に
関する基本協定

危機事象発生時の四国4県
広域応援に関する基本協定

応援・救援体制の連携
広域防災拠点ネットワーク
広域的な相互救護活動

■広域的な遠隔医療体制の展開

●島しょ部の医療サービスを確保するため、瀬戸内海を巡回する診療船の継続運航に対する支援



●地域医療の充実を図るため、情報通信技術を活用した遠隔医療ネットワークの拡大に向けた検討

■広域救急医療体制の構築

●瀬戸内海沿岸の広域救急医療として、本四架橋やヘリコプターを活用した患者の救急搬送・血液輸送の連携

- 救命救急センター(四国圏・瀬戸内海沿岸)
- 赤十字血液センター
- 本州四国連絡道路
- 重要港湾
- 高規格幹線道路・地域高規格道路等(供用)
- 高規格幹線道路・地域高規格道路等(整備中・計画)

広域交通ネットワークの連携促進

背景・他圏域との連携の方針

■本四架橋や高速道路の一層の利用拡大

四国圏は、これまで交通アクセスや時間コストは不利な状況であったが、本四架橋の整備や高速道路整備の急速な進捗により多様な交流が進展し、一層の利用拡大が求められている。

■東アジアの活力を取り込んだ国際競争力の向上

東アジアの急激な経済成長のダイナミズムを四国圏の活力に取り込むことが求められており、四国圏の国際競争力を高める上で、港湾物流の効率化や国際物流に対応した物流環境の整備、圏域内の道路交通ネットワークの充実が課題である。

●観光交流の拡大や物流の効率化、産業交流の新たな展開等による四国圏の成長力の強化に向けて、本四架橋の利用拡大による地域活性化を図る。

●国際交通ネットワークの確立に向けて、圏域内外の主要港湾・空港との役割分担を踏まえた物流基盤の整備や、太平洋から日本海までの南北軸の強化による交流の新たな展開・拡大を図る。

他圏域との連携による取組

■港湾物流の効率化に対応した物流基盤の整備

- 大型船舶等に対応した多目的国際ターミナルの整備推進

多目的国際ターミナル（高松港朝日地区）



- フェリー等を活用したモーダルシフト施策の実施等によるグリーン物流の実現
- 備讃瀬戸航路や来島海峡航路における航行の監視や安全な航行の援助
- 海洋環境や航行規制等に配慮した開発保全航路の拡幅や増深等の実施

■太平洋側の物流環境の改善

- 複合一貫輸送ターミナル等の整備推進
- コンテナ貨物等の輸送に対応したアクセス道路等の整備推進

